

AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学図書館報 第19号

Contents:

イギリス私家版工房訪問記

豪州図書館しおり事情

新聞記事データベースが使えるようになりました

INFORMATION

編集後記

イギリス私家版工房訪問記

指 昭博

イギリスには、大量生産とは違った、手作りの書物を少数出版する私家版印刷（private press）の伝統がある。19世紀末にウィリアム・モリスが主催したケルムスコット・プレスはもっとも有名な例であるが、今日でも、同様の印刷工房が各地で活動を行っている。マンチェスター近郊のオールダムに工房を構える「インクライン・プレス Incline Press」もそういった出版所の一つで、小規模ながらも、英米の書物愛好家の間ではよく知られた存在である。以前から通信のやりとりはしていたので、昨年度（2002年）在外研究でイギリスのヨークに滞在している間に、できたら工房を見学したい旨お願いしていたのだが、ようやく訪問が実現したのは、帰国も近くなった今年の2月である。

ヨークから列車で数時間、マンチェスター駅に到着すると、工房主グレアム・モス氏が迎えに来てくれていた。オールダムは、かつては紡織産業で栄えた町であるが、今はかなり寂れた印象を受ける。工房の前の通りが「Printers Street」というのが面白い。文字通り、かつては大きな印刷所があったということである。工房内部は、お世辞にもきれいとは言えないが、一階には印刷機が据えつけられ、二階は、活字を組んだり、製本を行ったりするスペースになっていた。

昼食にモス氏手作りのスープをごちそうになったあとは、印刷「実習」の始まり。短時間でできる印刷物として、蔵書票を作ることになった。小さなイラストと文字で

構成するのだが、まず、18世紀末から19世紀初めに活躍した版画家トマス・ビュイックの版木（複製品）からイラストを選び、それにふさわしい書体の活字を選択する。今回は、やはり18世紀イギリスの書体「バスカーヴィル」を選んだ。あとは、活字を拾って並べれば良いのだが、ただ並べるだけではいけない。それでは、文字と文字の間に隙間が無く、美しく見えないのである。モス氏から、活字の間に詰め物を入れて間隔のバランスを取るノウハウを伝授してもらうが、その職人技にいたく感心した。蔵書を示す言葉「Ex Libris」と自分の名前だけのシンプルなものにしたが、大文字と小文字の組み合わせ、文字の配置など、僅かに20文字にも満たないとはいえ、あてもない、こうでもない、活字と格闘すること数十分、ようやく版が組み上がった。

次は、印刷である。こういった私家版工房の場合、昔ながらの手動の印刷機を使うことが多い。この工房で使っているのは、「足踏み式アラブ」と呼ばれるもので、ちょうどミシンのように、足で踏み板を動かすことで、プレス版が作動し、印刷される仕組みである。インクは自動的にローラーが動いて活字面に塗布される。両手が空くので、片手で紙をセットし、もう一方の手で、印刷済みの紙を取り出すことになる。慣れると、リズムカルに印刷できるのだが、下手をすると手を挟みかねない。恐る恐る、足踏み板に力を入れてみるが、中途半端だと、ミシンと同じで、逆回転してしまう。最初はとまどったが、調子が出てくると、あっという間に予定していた枚数を刷り終えることができた。さて出来映えは？ 本人は、初めての本格的な印刷作業にいささか興奮気味で、作業自体に満足してしまったが、モス氏にもかなり好評であった。まずは合格点。

帰りがけ、モス氏に日本の千代紙を手に入れて欲しいと頼まれた。型染め和紙などを表紙に使った本造りがしたいのだという。和紙は、古くから欧米で上質の書籍用紙として珍重されており、欧米での関心は想像以上に高い。華やかな和紙を表紙にもつ手作りの書物、想像するだけで楽しくなる。その完成が待ち遠しい。

（本学教授）



豪州図書館しおり事情



図書館のカウンターの片隅に、しおり(bookmark)が置かれていることをみなさんお気づきでしょうか。図書館では今年7月から利用者サービスの一環として、しおりの提供を開始しました。このしおりは、図書館システムの電算化により使われなくなった目録カードを利用したもので、片面に図書館を利用する上で役立つ情報を盛り込んでいます。

しおりの製作に携わるようになってからというもの、しおりに興味が湧き、個人的に集めるようになりました。日本の場合、出版社や書店のしおりは容易に手に入りますが、やはり見てみたいのは図書館のしおり。しかし、図書館のものとなると、実物はおろか、インターネット上でもなかなかお目にかかることができません。

そんな折、オーストラリアを旅行することになり、国立・州立・公立¹・大学といったさまざまな図書館を訪ねる機会に恵まれました。驚いたことに、オーストラリアでは行く先々の図書館に趣向を凝らしたしおりが用意されており、旅行中に数館の図書館を訪問した結果、40種類近くものしおりが集まりました。

オーストラリアの図書館で提供されているしおりは、日本で一般的に手に入るものと比べると格段に大きく、縦21cm、横5～6cmが標準的なサイズです。その多くが、厚手の紙を用いた多色刷りで、デザインにも気を配っています。また、「図書館のしおり」ということで、開館時間や貸出冊数などの利用案内が盛り込まれているものも多く見られました。

オーストラリア国立図書館(キャンベラ)では、目の覚めるような青地の紙に鮮やかな黄色の文字で「Ask Now!」と書かれたしおりを見つけました。Ask Now!とは、豪州の国立、州立および公立図書館によるオンラインレファレンスサービス共同事業で、インターネットを通じて参加館の図書館員が利用者からの質問にリアルタイムで答えるというサービスです。しおりにはURLが記載されているので、簡単にウェブサイトを見つけサービスを利用することができます。

ニューサウスウェールズ州立図書館(シドニー)は、しおりを使って所蔵資料を紹介しています。図版には、『フローラの神殿』²の植物画や中世の祈祷書の文様など、同館所蔵資料のなかで美術的・歴史的価値の高いものを使用しており、その華やかさは売り物と見間違えるほどです。間接的ではありますが、しおりを通じて貴重資料に触れることができました。

公立図書館(ナウラ、キャンベラ)では、ジャンル別作家リストが定番でした。ジャンルはミステリーやファンタジーなどに分かれ、各ジャンルの代表的な作家約20人がしおりで一覧できるようになっています。体裁は目にまぶしいほどの蛍光色の用紙を使った黒一色刷りの豪州標準サイズで、いかにも手作りといった風情に妙に親近感をおぼえました。

大学図書館でもしおりを提供しています。オーストラリア国立大学(キャンベラ)では、開館時間やオンラインサービスを案内したしおりのほかに、大きな®マークをほどこしたしおりがありました。このしおりにも URL が記載されており、指示されたサイトに接続すると、大学の情報関連部局のページが現れる仕掛けです。そのページでは、著作権に関するさまざまな情報を提供し、学生に著作権の保護を呼びかけています。

数々のしおりを通して、オーストラリアの図書館サービスの現状を垣間見ると同時に、広報媒体としてのしおりの可能性を実感しました。そこで、わが外大図書館のしおりに目を転じると...華やかさには欠けるものの、図書館用品を使ったしおりは「図書館らしい」味わいがあるのではないのでしょうか。今後もこの小さなスペースに広報の可能性を追求し、利用者のみなさんのお役に立てるしおりを作っていきたいと思います。どうぞごひいきに。
(飯島)

¹ ここでは、州以外の自治体が設置する図書館を指します。

² 英国の植物学者ロバート・ジョン・ソートン(1768?-1837)によって刊行された史上最美といわれる植物図譜(1799-1807)。しおりに使用されている図版は「チューリップ各種」。



新聞記事データベースが使えるようになりました

-- DNA for Libraries の提供開始について

今年10月下旬から、図書館で過去20年分の朝日新聞の記事をオンラインで検索できるようになりました。

DNA (= Digital News Archives) は、朝日新聞社が提供する全文検索型の記事データベースです。1984年8月以降の400万件にのぼる新聞記事をはじめ、「週刊朝日」「AERA」の記事の検索ができます。

さらに、従来から提供している「朝日新聞戦後見出しデータベース 1945-1999」(CD-ROM)と併用することで網羅的な検索が可能です。

コピー室前右端に専用の端末を置いています。利用されるときは端末付近においてある申込書に記入の上、学生証を添えてカウンターへお申し込みください。

収録記事

本紙	1984年8月～	東京本社版ニュース面
	1989年2月～	大阪本社版ニュース面
	1989年4月～	西部・名古屋版ニュース面
	1988年4月～	家庭・文化・読書面（東京本社版のみ）
	1988年5月～	芸能面（東京本社版のみ）
	1993年1月～	スポーツ面・日曜版
	1995年5月～	短歌・俳句
	1996年4月～	家庭・学芸・芸能・文化（大阪本社版）
	1998年12月～	夕刊マリオン
	1999年3月～	家庭・学芸・芸能・文化（西部・名古屋本社版）
	1999年6月～	北海道支社版ニュース面
地方版	1988年6月～	東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・群馬・栃木
	1990年11月～	大阪・京都・兵庫・奈良
	1993年10月～	静岡・山梨・宮城
	1993年11月～	広島・岡山・福岡
	1994年1月～	愛知
	1997年1月～	沖縄以外の全都道府県
	2000年4月～	多摩
	2001年4月～	東京川の手
AERA	1988年5月～	（創刊号から）
週刊朝日	2000年4月～	

収録記事数：約 336 万件（2001 年 9 月現在）

利用に際しては次の点にご注意ください。

プリントアウトは個人的な利用の範囲内で可能です。

データのフロッピーディスクへの保存はできません。

朝日新聞社外の執筆者の記事は、著作権等の関係で本文が表示されないものがあります。ただし、見出しのみ検索することは可能です。（この場合、朝日新聞縮刷版で本文を確認することができます。）

わからないことがあればお気軽にカウンターへお尋ねください。

INFORMATION

視聴覚ライブラリーから

冬季休業中の開室時間と閉室日について

冬季休業中の開館日程は次のとおりです。

開室日：12月16日（火）～26日（金）
開室時間：午前9時30分～午後0時30分
午後1時30分～午後4時30分
閉室日：12月27日（土）～1月4日（日）

図書館から

冬季休業中の開館時間と休館日について

冬季休業中の開館日程は次のとおりです。

開館時間：

12月16日（火）～25日（木）
午前9時～午後7時30分

*ただし12月18日（木）は館内整理日のため午後5時～午後7時30分のみ開館します

12月26日（金）
午前9時～午後4時30分

休館日：12月27日（土）～1月4日（日）



冬季休業に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出を行います。

期間：12月1日（月）から26日（金）
返却日：2004年1月9日（金）

*院生は12月13日（土）以降の貸出分の返却日は4週間後になります。

貸出冊数：1・2年生、科目等履修生および学外者は上限が通常の5冊から7冊になります。ほかは通常通りです。

目録カードのしおりについて

今までに配布したしおり

「豪州図書館しおり事情」(p3-4)で
ふれているとおり、今年7月から、不要
になった目録カードを利用したしおり
を作成・配布しています。

加バー

現在配布しているのは「バーコード」
「請求記号」の2種類の柄です。

女の子

裏面には、図書館利用の上で役立つ情報
をのせています。デザイン・情報とも随
時変更する予定です。

<裏面>

カウンター上、カレンダー付近に置い
ています。どうぞご利用ください。

OPACの画面がかわりました

OPACの画面が少し変更されました。検索画面左端に他サイトへのリンクが用意されて
います。

Webcat (国立情報学研究所)

全国の大学図書館・研究機関等の所蔵する図書や雑誌を検索することができます。

Webcat Plus (国立情報学研究所)

Webcatに「連想検索」等の機能が加わり、多面的な検索が可能になっています。

NDL-OPAC (国立国会図書館)

国立国会図書館の蔵書を検索することができます。

いずれも、神戸市図書館情報ネットワークを検索して、必要な資料が見つからない場合
などにご利用いただけます。ご活用ください。

* 画面の変更は図書館内のOPACのみ。

学園都市共通閲覧証について(院生の方へ)

学園都市内の大学図書館を利用できる共通閲覧証で、従来はできなかった図書の借用が
できるようになっています。詳細は図書館カウンターでお尋ねください。

編集後記

『西洋の書物工房』（芳賀書店）の「あとがき」で、貴田庄氏が、モロッコ革やマールブル紙は西洋の本の歴史にあってはとりわけ珍しいものではなく、イギリスやフランスの図書館員で知らない人はまずいないだろうが、わが国の多くの図書館員はそれを知らないと、司書資格をもって図書館で働いている人たちに苦言を呈しています。

指教授が印刷「実習」で作られたという、その働きは同じでも、蔵書印とはその趣をまったく異にし、一度その美しさの魅力の擒になると、その世界から抜け出せなくなってしまふといわれる「蔵書票」についても同じようなことが言えるのかもしれない。

軽・薄・短・小が今でも好まれ続けているのかどうかは別にして、最近の新書ブームにもそれなりの理由があり、一概に否定はできませんが、「世界設計としてのタイポグラフィ」と言われたりもする活字の字体から始まって、使用する紙の質やインクの組成、そして勿論装丁にいたるまで、その書物の内容とのバランスを考えつつ、隅々まで気を配りながら作られた一冊の書物は、よく譬えられるように一つの宇宙なのであって、そうした書物を手にとってゆっくりと慈しむといった時間を持つことは、何事にも換えがたい経験となるのではないのでしょうか。

多くの人が心を合わせ、魂を込めて創り出した「ゲーテンベルグの銀河系」のなかから、あなたのお気に入りの一冊を探し出して見られては如何でしょう。

そうした書物探しのお手伝いをするところこそ、私たち図書館員にとって最も楽しい仕事の一つに違いないわけですから。

編集責任者：図書館事務長 牛原秀治

AD ALTIORA SEMPER No.19 = 神戸市外国語大学図書館報 第19号

編集・発行：神戸市外国語大学図書館

〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1

TEL: 078-794-8151 / FAX: 078-797-2257

E-Mail: info@lib.kobe-cufs.ac.jp

URL: <http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/>

2003年11月28日発行

発行責任者：図書館長 佐藤 晴彦